



公立芽室病院 第65号 だより

ホームページアドレス
http://memuro.com
又は芽室町ホームページのトップページから
アクセスできます。

長期間検査もせず、薬だけを飲み続けるのは**危険**です!

院長 宮本 光明

以前、「忸怩たる想い」ということで文章を書いたことがあります。覚えておられる方もおられるかもしれませんが、最近またこの思いを強く抱く出来事がありました。ここで改めて思うことは病院で行う検査の大切さであります。ある日の外来で患者さんから突然言われました。

「先生、患者をきちんと診てください!!」…何だこの人は失礼な事を言うなあと思いましたが、詳しく聞くとこの方の夫が急に倒れ救急車で入った病院の医者に、何でこういう状態になるまでほおっておいたのだと言われたというのです。ところがこの患者さんのカルテを見ると、薬は奥さんがもらいに来ることが多く、本人が来院されて検査などを勧めても拒否されることも多い方の方でした。それにカルテ上は私が診た事がほとんどない方でした。それなのになぜこのようにいわれるのか不思議に感じました。私が考えるに、それはこのような患者さんも、ご家族の方も、病院から処方箋を出してもらっているということで、病院とつながっていると思い、なんとなく安心してしまっているのではないかと考えられます。

いわゆる生活習慣病(高血圧・高脂血症・糖尿病等々)というのは、初めはまったく症状がないことが多く、しかも症状がなければ積極的に検査を受けようと思わないのが人の常であります。外来で私が患者さんに「体の具合はいかがですか?」と聞くと、「先生痛いところも痒いところもなく元気です。」と患者さんは答えます。しかし検査をしてみると高い血圧、高い血糖値、高いコレステロール値ということはしょっちゅうあります。そしてこのことが前述の患者さんのように心筋障害や脳障害で倒れることにつながることもあるわけですから、病気のある人はもちろん、健康だと思っている人

も検査を受けることは転ばぬ先の杖を持つことになります。

とはいっても検査にはお金もかかります。では必要にして十分な検査とはどのような検査をどの位の割合で受ければよいのでしょうか?その目安を代表的な疾患別に表にまとめましたので参考にしてください。

	血液検査	心電図胸部レントゲン	その他の検査
高血圧症	3~6か月毎	6~12か月毎	
糖尿病	毎月	6~12か月毎	
ウイルス性肝炎	毎月(活動期には随時)		エコー・CT 3~6か月毎
高脂血症・高尿酸血症	1~3か月毎	6か月毎	

なお当然ですがこれは公立芽室病院だけでなく、他の医院や診療所でも出来る検査です。受けた検査結果を自分で分かるようにしておき、他の医療機関を受診する際に持参していただければよいのです。そうすれば無駄な検査をしなくてもよいことになります。職場の健診や町のミニドックやすこやか健診の結果を利用することも良い方法です。あなたの検査結果は健康をチェックする物差しになります。慢性的な病気で病院に受診されている方は、是非、担当医の説明のもとに積極的に検査を受けるようにしてください。もちろん、そうでない方は今年から始まる特定検診やすこやか健診を積極的に受けましょう。

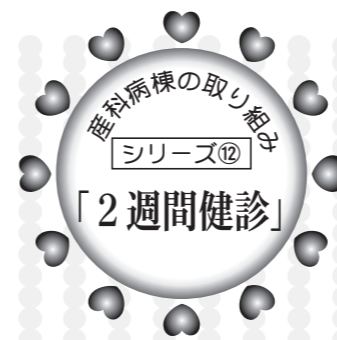
いずれにしても、最近は薬だけを希望され、診察を受けたがらない方が増えてきていますが、これまで述べてきたことを参考に、きちんと診察を受けて定期的な検査を積極的に受けるようにしてください。

眼科からのお知らせ

6月から金曜日にも外来診察を行います。

今まで、月曜日～木曜日までの診察でしたが、旭川医大の協力により金曜日にも医師を派遣していただくことになりました。詳しい出張医師は院内に掲示してありますのでそちらをご覧ください。

	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	手術日(月2回) 手術のない日は診察	○	○	○



2週間健診とは、産後2週間のお母さんと赤ちゃんに病院に来ていただき、助産師が赤ちゃんの体重や全身状態をみて、順調に成長しているかどうか、また、お母さんのおっぱいの状態や産後の経過

は順調なのか、困っていることはないのかなどを確認し、必要な保健指導を行う健診のことです。

退院後の母親の多くは、母乳は不足していないかなど疑問や不安を抱えており、それらが最も著しくなるのが退院後1週間の頃とされています。

入院中は、そばに助産師がいて疑問や不安になったことはすぐ聞くことができましたが、退院するとすぐ聞くことができないので、困ったという声を時々聞きました。

そこで当院では平成17年4月から、最も不安になるという退院後1週間頃に助産師による「2週間健診」を始めました。



お母さんたちからは「心配事を聞いてもらえて安心できた」「赤ちゃんが順調に成長していることがわかって安心した」「話が出来ただけで安心した」などと言う感想が聞かれます。また、いっしょに来院した実母からは「(娘の)母乳が足りないと思っていたが、充分足りていることが分かり安心した」と言って帰られます。

母乳育児をすすめる中で、産後2週間頃に赤ちゃんの体重増加状態やお母さんのおっぱいの状態を確認しながら会って直接話しをすることは、お母さんが安心して子育てしていくことの手助けになっています。

特定(後期高齢者含)健康診査・すこやか健診のご案内

6月2日(月)から公立芽室病院で受ける健診の予約を開始しています。

受付電話 ☎62-2811 「健診の受け付け」と申し出てください。

今年度から実施される特定健診・後期高齢者健診制度により、健診内容や助成内容がとても複雑になっています。健康診断のご予約・実施についてご不明な点は、健診の予約時にご相談ください。

- ・特定健康診査(40~74歳の健診)**
 対象者…当院で使用できる受診券(加入する健康保険から送付)をお持ちの方
 負担金…加入する健康保険により負担金がある場合があります。
 内 容…診察・身体測定・血圧・血液検査(7項目)・尿検査(2項目)
 芽室町国保に加入の方は心電図・眼底検査・血液検査(3項目)が追加されます。
- ・後期高齢者健診(75歳以上の健診)**
 対象者…受診日現在で75歳以上の芽室町民の方(後期高齢者医療保険の方)
 負担金…650円
 内 容…診察・身体測定・血圧・血液検査(7項目)・尿検査(2項目)
- ・すこやか健診(40歳以上の人間ドック)**
 対象者…40歳以上(昭和44年3月31日以前生まれ)の芽室町民の方
 負担金…芽室町がん検診の助成の有無・特定健診受診券の種類・胃部検査の種類によって異なります。7,300円~28,960円
 内 容…診察・身体測定・血圧・視力・聴力・血液検査(29項目)・尿検査(5項目)・胸部X線検査・心電図・眼底検査・腹部エコー・便潜血・胃カメラ(または胃バリウム)